

講義名	医療福祉		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	佐々木 勝一		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 5時限		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	25055

主題と概要

現代の、医療福祉サービスの基本的な構造と変化を理解し、これからの社会福祉専門職に求められる知識と技術を体系的に整理します。また、支援に関わるソーシャルワーカーの支援方法と、医療・福祉現場で求められる疾患、障害に基づくニーズだけではなく、クライアントの生活課題を踏まえた当事者理解について学習します。

到達目標

下記のことを修得します。

相談援助活動において必要となる医療保険制度（診療報酬）や保健医療サービスについて理解することができる。

保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種連携・協働・チームアプローチについて理解することができる。

保健医療サービスにおける知識と技術を体系的に理解し活用することができる。

ソーシャルワーカーに求められるクライアント理解のための意識、技術、具体的方法を理解し、積極的に活用できる。

提出課題

適時、レポートによる課題提出を求めます。

評価の基準

出席状況50%、課題提出状況30%、期末試験20%で総合的に評価します。

履修にあたっての注意・助言他

医療機関だけでなく、社会福祉、教育、企業においても医療と福祉に関係する事象は、多く存在します。例えば、健康保険が何のために制度化されているのかを正しく理解することは、社会人として不可欠な知識です。この授業を通じて、対人援助職の意義と価値するために、平常から医療・福祉に関係するニュース等に関心を深めてください。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

特定の教科書は利用しません。講義内容に応じて、プリントを配布します。

授業計画

- 1) 医療福祉論とは
- 2) 医療・福祉分野のソーシャルワークの歴史と動向
- 3) 医療・福祉政策の動向、国民の健康と疾病、福祉サービス
- 4) ソーシャルワーカーの業務と役割
- 5) ソーシャルワーカーの業務指針
- 6) ソーシャルワーク業務の実際
- 7) 医療・福祉サービス提供と生活保障
- 8) 医療保険制度・診療報酬制度・福祉サービス制度の概要
- 9) 介護保険、障害者総合支援法の概要
- 10) その他の保健・医療・福祉関係法規(児童・母子等)
- 11) 医療・福祉サービスにおける専門職の役割と実際
- 12) チームケア実現のための制度や連携機関・団体
- 13) 地域の医療・福祉ネットワーク構築のための連携方法と基礎知識
- 14) これからの保健・医療・福祉サービスの動向（就職するに際しての視点から）
- 15) まとめ(レポート作成)。

予習・復習

受講した内容について、次回の授業までに必ず理解し、疑問があれば質問を行ってください。また、将来、この分野での就職を希望する学生は、より具体的な質問などを期待します。

備考

遅い時間での授業となりますが、積極的に学びたいという学生を待っています。